

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2002-505363(P2002-505363A)

【公表日】平成14年2月19日(2002.2.19)

【出願番号】特願2000-534605(P2000-534605)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**B 2 9 C 47/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 13/02 (2006.01)**

**C 0 8 L 27/12 (2006.01)**

**C 0 8 L 71/02 (2006.01)**

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

B 2 9 C 47/00

C 0 8 K 13/02

C 0 8 L 27/12

C 0 8 L 71/02

C 0 8 K 13/02

C 0 8 K 3:22

C 0 8 K 5:00

C 0 8 L 27/12

C 0 8 L 71:02

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 27:12

C 0 8 L 71:02

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月21日(2006.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (A) 過半量の、炭化水素ポリマー、ポリアミド、ポリウレタン、ポリエステル、ポリカーボネート、ポリケトン、ポリウレア、ポリアクリレート、およびポリメタクリレートからなる群より選択される押出し可能な熱可塑性ポリマー、および

(B) 上記押出し可能な熱可塑性ポリマーにおける溶融欠陥を減少させるのに有効な量の安定化された加工助剤を含み、

上記安定化された加工助剤が、

(i) フルオロカーボンポリマー、

(ii) 酸化マグネシウム、

(iii) 一般式、



(式中、Aは複数の活性水素原子を有する低分子量開始剤有機化合物に由来する活性水素を含まない残基であり、 $(OR^1)_x$ はポリ(オキシアルキレン)鎖であり、 $R^1$ 基の各々は独立に $C_1 \sim C_5$ アルキレン基から選択され、 $x$ はオキシアルキレン単位の数であり、 $R^2$ 基の各々は独立にHおよび1個以上のヘテロ原子を含んでも良いアルキル基から選択され、 $y$ は2または3である)

を有するポリ(オキシアルキレン)ポリマー、および

(iv) 所望により安定剤、

を含む、押出し可能な組成物。

【請求項2】 (i) 安定化された加工助剤が、押出し可能な熱可塑性ポリマー固形分の0.001~50重量%を構成する、

(ii) 安定化された加工助剤が、押出し可能な熱可塑性ポリマーの0.005~0.7重量%を構成する。

(iii) フルオロカーボンポリマー対ポリ(オキシアルキレン)ポリマーの重量比が、5:1から1:15の範囲にある、

(iv) 安定剤が、少なくとも1種の抗酸化剤、任意選択的にはフェノール類、ヒンダードフェノール類、リン化合物、およびベンゾフラノン化合物から成る群より選択される少なくとも1種の抗酸化剤を含む、

(v) 炭化水素ポリマーがポリオレフィンである、および

(vi) これらの組み合わせ、

から選択される特徴を有する、請求項1に記載の押出し可能な組成物。

【請求項3】 安定化された加工助剤が、

(a) 50~99.9重量%、任意選択的には85~96重量%のフルオロカーボンポリマーとポリ(オキシアルキレン)ポリマーとの組み合わせ、

(b) 0.10%~10固形分重量%、任意選択的には1~5固形分重量%の酸化マグネシウム、

(c) 0~40重量%、任意選択的には1~35重量%の安定剤

を含む、請求項1に記載の押出し可能な組成物。

【請求項4】 (A) フルオロカーボンポリマー、

(B) 酸化マグネシウム、

(C) 一般式、



(式中、Aは複数の活性水素原子を有する低分子量開始剤有機化合物に由来する活性水素を含まない残基であり、 $(OR^1)_x$ はポリ(オキシアルキレン)鎖であり、 $R^1$ 基の各々は独立に $C_1 \sim C_5$ アルキレン基から選択され、 $x$ はオキシアルキレン単位の数であり、 $R^2$ 基の各々は独立にHおよび1個以上のヘテロ原子を含んでも良いアルキル基から選択され、 $y$ は2または3である)

を有するポリ(オキシアルキレン)ポリマー、および

(D) 所望により安定剤、

を含み、

押出された熱可塑性ポリマーにおける溶融欠陥を減少させるのに有効な量の成分(A)、(B)、(C)および(D)を含む、

安定化された加工助剤組成物。